

小児



コーナー

北病院 言語聴覚士
浜崎 京美

構音障害について



小児言語訓練への問い合わせで多い症状に「構音障害」があります。構音障害とは簡単に言うと【赤ちゃん言葉が抜けない】という症状です。例えば「おかあたん」「～でしゅ」などなど。「赤ちゃん言葉が抜けないけれど何となく可愛らしいわ～。そのうち治るでしょ？なんて思っていたけど小学校入学まであと3ヶ月(汗)！！」と慌ててご相談を頂くこともチラホラ。構音障害としてはその間違いが年齢相応かどうかで判断します。判断基準には諸説ありますが、サ行・ラ行・ツ・ジ(チ)・ヅの習得は5歳前後、それ以外の音は4歳を過ぎる頃までに習得を目安とします。そ

のため、一例ですが3歳のお子さまのサ行間違いでの問い合わせについては「年長さんになってから訓練に来てね」とお返事をさせて頂いています。

